

むつ市議会だより

題字：藤村 岳さん(むつ☆かつ 美術クラブ) 絵：夏祭り／高田 莉羅さん(青森県立むつ工業高等学校 3年生 CG・イラスト愛好会)



校舎はどうなる？下北地区統合校 青森県等へ意見書を提出

詳細は2ページへ

一般質問 15の視点

詳細は6ページへ

次回任期(令和9年10月)から 議員定数の削減を決定

詳細は3ページへ

！議会だより工事中！
進捗率80%

こどもたちの多様な学びの実現に向け 青森県等へ意見書を提出

6月3日 議員提出議案第4号 全会一致で可決

下北地区統合校を志望するこどもたちの不安の解消、進路の実現及び学習環境の充実に向けて、速やかに施設整備等の方針を示すことを求める意見書

6月10日 青森県知事、青森県教育長へ意見書を、
青森県議会正副議長へ要望書を提出

青森県知事コメント

地域の今までの検討と要望が、できる限り反映してもらえるように、(県教育委員会に)私からもお願いをしていますので、良かたちで令和9年に開校して、こどもたちの未来につながる学びが新しい校舎でできるようにしていただきたい。



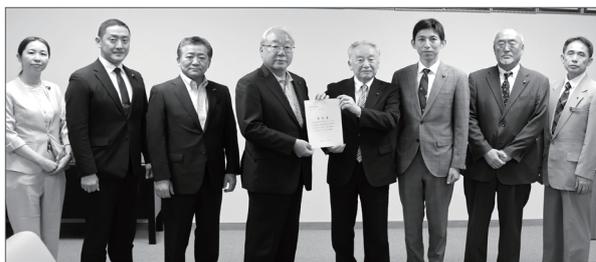
青森県教育委員会教育長コメント

校舎の整備方針は、改築計画と既存校舎のリニューアル改修の両面で現在検討を進めている。工事期間中における生徒の学習活動への影響や事業全体のスケジュールなど、様々な角度から、よりよい施設整備の方向性を検討しているところで、可能な限り早期に案を示したいと考えており、当初の計画どおり、令和9年4月には開校することとして、準備を進めている。



青森県議会議長コメント

下北地区統合校を志望するこどもたちの不安の解消のため、進路の実現及び学習環境の充実に向けた要望の趣旨については十分理解をしている。県議会においても要望に対する県執行部の対応などを踏まえ、適切に対処していく。



意見書の内容

1. 下北地区統合校の開校に向けた校舎の整備方針案及び全体のスケジュールをこどもたちや保護者を含めた地域住民に対して速やかに説明し、意見を聴取した上で整備方針を決定すること。
2. 当初の方針のとおり、むつ工業高等学校の校地に校舎を新たに整備すること。なお、新築が叶わない場合にあっては、新築同様の改修を行うこととし、教育環境の充実を図ること。
3. 下北地区統合校検討委員会が取りまとめた要望書でも求めている多様な学びが実現できる校舎・教育環境・カリキュラムを整備すること。

議員定数2名削減を決定

次回任期(令和9年10月)から 議員定数22名から20名へ

賛成多数
可決

議員提出議案第5号

むつ市議会議員定数条例の一部を改正する条例

提案理由

当市の人口は、議員定数を30人から26人とした平成23年10月には約6万4千人、議員定数を22人とした令和元年10月には約5万7千人でありましたが、直近では5万1千人を切る状況となっており、今後も^{ていげん}遞減が見込まれています。

全国の自治体議会では、人口減少等に伴う議員定数の見直しが議論されているところであり、本市議会においても見直しの声が高まったことを受け、議員それぞれの考えのもと、議員定数検討会議及び議員協議会を開催し検討してきましたところあります。

市議会が主体性を持って定数を見直し、必要最小限の議員数で最大の効果を上げることが、市民の負託にこたえるべき使命と判断したところであり、全議員の意思統一には至りませんでした。次のむつ市議会議員一般選挙から定数を20人とすることに賛同する議員20名をもって提案するものであります。

むつ市議会議員の定数の推移

区分	合併前 旧むつ市	平成17年 3月14日 合併時	平成19年 10月16日~	平成23年 10月16日~	令和元年 10月16日~	令和9年10月 (新任期)~
議員定数	22人	65人	30人	26人	22人	20人
人口(年度末)	67,342人 (平成16年度末)	67,342人 (平成16年度末)	65,129人 (平成19年度末)	63,220人 (平成23年度末)	56,244人 (令和元年度末)	50,959人 (令和6年度末)
議員1人当たり人口	3,061人	1,036人	2,171人	2,432人	2,557人	2,548人

賛否一覧

議決結果	合計			市誠クラブ				公明・自由			自民クラブ				陸奥未来				会派に属しない議員						
	賛成	反対	欠席不在	佐賀英生	東健而	野中貴健	大瀧次男	佐藤広政	住吉年広	櫻田秀夫	白井二郎	中村正志	佐々木肇	浅利竹二郎	井田茂樹	富岡幸夫	佐々木隆徳	岡崎健吾	村中浩明	富岡直哉	高橋征志	杉浦弘樹	佐藤武	工藤祥子	濱田栄子
可決	19	2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○

○は賛成、●は反対、「欠」は欠席または採決時に不在。議長(富岡幸夫)は採決に加わらない

「注目の議案にズームイン!!!」

Zoom 1

議案第26号 むつ市産業会館条例の一部を改正する等の条例

『まさかりプラザ』を

『むつまちなかオフィス』へとリニューアル

むつ来さまい館には売店を設置し、利便性向上へ

問 本条例の改正の目的、意義は。

答

市はこれまで、「むつ来さまい館」や「むつ下北観光物産館」を通じて産業振興や市民の交流促進に寄与したが、施設に求められる役割が変化してきた。そのため、既存の観光・物産の機能と産業振興を一体化させ、同時に新たな産業活動の創出拠点として「むつ下北観光物産館」を「むつまちなかオフィス」へ改変し、商工業の発展と中心市街地の活性化に寄与する施設として運営していく。



☑ むつまちなかオフィスとなるむつ下北観光物産館



☑ 売店が設置されるむつ来さまい館

問 この改正によりどのように変わるのか。

答

「むつまちなかオフィス」は、事務室8室を設定し、入居団体とともに商工業の発展や中心市街地の活性化を図る。また、「むつ来さまい館」1階の一部は、しもきたツリズムが運営する売店施設へリニューアルし、利用しやすい売場へ変化させる。2階の下北ジオパークビジターセンターと併せて、下北地域の観光と地場産品のPR、物産の振興を図る。

問 施設の使用料はどのように算定したのか。

答

現在「むつ下北観光物産館」に入居している団体から徴収している料金を基準とし、年額1㎡あたり1400円。使用する面積にこの金額を乗じた額を使用料として設定している。なお、電気料及び通信料は、使用した団体の自己負担とし、想定される使用料収入は、両施設合計で年間約2000万円を見込んでいる。

問 施設改修費の内容は。

答

委託料では、設計業務委託に525万6千円、工事監理業務委託に247万4千円。また、工事請負費では、建築工事に4452万8千円、電気設備工事に2736万8千円、看板塗装工事に96万6千円を計上。改修場所は、「むつ下北観光物産館」1階の事務室及び売店施設、2階ホールと食堂施設、3階和室、会議室をそれぞれ事務室に改修する。工期は設計業務に約2か月半、改修工事に約5か月半を見込んでいる。

Zoom 2

学びの多様化学校

むつ市が目指す学びの多様化学校

議案第34号 令和7年度むつ市一般会計補正予算

学びの多様化学校の開設

学びの多様化学校とは
在籍校への復帰が難しいものの、新しい環境のもと少人数・ゆったりとしたペースであれば学ぶことができる不登校児童生徒等を対象に、「もう一つの学びの場」として、多様な学びの機会を保障する学校

むつ市が目指す学びの多様化学校 **県内初**

コンセプト
・学校らしくない学校
・ゆったりとした教育課程

対象
・むつ市内に居住している小1~中3の児童生徒（併設型小・中学校）
・不登校の児童生徒

あなたの
ありのまま
をうけいれ
あなたの
自分らしさ
をえがくがっこう

■ 学びの多様化学校の開設
引用：むつ市令和7年6月定期例会記者会見資料

学びの多様化学校設置検討委員会の設置

不登校児童生徒によりそった学びを実現するために

検討内容
学校のコンセプト カリキュラム 不登校支援のあり方

委員の構成
学識経験者 学校関係者 不登校児童生徒の保護者 不登校支援団体関係者 教育支援センター

実施時期等
令和7年6月から年3回

開校予定地
奥内小学校 開校後の学校を活用

開校時期
令和9年4月

■ 学びの多様化学校設置検討委員会の設置
引用：むつ市令和7年6月定期例会記者会見資料

問 設置事業費の詳細は。

答 今後、予定している、学びの多様化学校設置検討委員会に要する経費となっている。報酬の30万4千円については、委員12名を想定している、委員への報酬、アドバイザーへの謝金として、計上している。また、旅費は、先進地視察に係る旅費となる。

問 委員の構成とスケジュールは。

答 当市において、不登校に携わる関係機関の方、不登校児童生徒の保護者等を想定している。今年度内、3回の開催を予定して、12月を目途に一定の結論を出したいと考えている。

Zoom 4

物産と観光のプロをむつ市へ派遣

国の「地域活性化起業人制度」を活用し、地域の課題を解決

問 地域課題に向け、どのような業界の人材を招聘するのか。

答 総務省の「地域活性化起業人制度」は、民間企業から、専門的な人材を自治体に派遣してもらおう制度であり、財源は特別交付税措置される。今回は、「副業型」の制度を活用し、7月から物産の専門家と、観光の専門家の2名を招聘し、地域課題の解決に向けて一緒に業務にあたっていたいただき、市の施策に繋げていく。

議案第34号 令和7年度むつ市一般会計補正予算

Zoom 3

親の就労の有無にかかわらず利用可能

こども誰でも通園事業

議案第25号 むつ市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

問 事業内容はどのようなものか。

答 6か月から満3歳未満の保育園などに通っていないこどもが月10時間まで通園できる。

問 事業を実施する施設は決定しているか。

答 これまで2回の事業者説明会を行っており、6月下旬に確認を行い、10月に事業開始を予定している。

問 事業の実施形態はどのようなか。

答 専任の保育士を配置する一般型と空き定員枠を活用する余裕活用型の2種類あり、事業者が選択する。

一般質問 15の視点

YouTubeで一般質問の配信動画をご覧いただけます →



議員から独自の視点で質問・提案する一般質問
今回は15人が登壇

中村 正志	高橋 征志	櫻田 秀夫	濱田 栄子	村中 浩明	佐藤 広政	野中 貴健	工藤 祥子	佐賀 英生	浅利竹二郎	井田 茂樹	佐藤 武	杉浦 弘樹	住吉 年広	富岡 直哉
P.11	P.10	P.10	P.10	P.10	P.9	P.9	P.9	P.9	P.7	P.7	P.7	P.7	P.6	P.6
E B P Mとは何か	高校再編と新校舎	障がい者就労支援	自然の家の存続を	海自大湊基地	物価高騰の影響は	止まらない少子化	ホタテ産業	特殊詐欺に注意を	限界集落の町内会	閉校後の利活用	農業振興策の充実	高校通学の問題点	認知症早期発見	どうなる統合校



(公明・自由)
すみよしとしひろ
住吉年広 議員が問う

認知症早期発見

政策提案 認知機能セルフチェッカーを
早期に導入すべき

Q 認知機能セルフチェッカーのデモ機を活用し、福祉部門、高齢者福祉の課題や反応、運用面での課題を検証・蓄積したうえで、次年度の本格導入を改めて検討してはどうか。市の見解は。

Q もの忘れ・相談会の開催状況(年間開催回数)及び相談件数について伺う。
A 相談会は年間12回開催しており、相談会における相談件数は令和5年度が4件、令和6年度が3件となっている。



気づきが未来を守る

A 認知症は、一度発症すると回復が難しいため、早めに気づくことがとても大切である。自分の状態を簡単に確認できる『認知機能セルフチェッカー』は有効な方法と考えており、まずは試験的に導入できるように検討していく。



(陸奥未来)
とみおかなおや
富岡直哉 議員が問う

どうなる統合校

政策提案 校舎整備について、
早期に方針案を示すべき

Q 6月10日の要望活動において、県教育長及び知事からはどのような回答があったのか。
A 風張教育長からは、「可能な限り早期に整備方針案を示したいと考えており、様々な準備をしているので、もう少しお時間をいただきたい」との発言があった。

宮下知事からは、「市が主体的に検討委員会を立ち上げ、積極的に議論いただいたことは、これからの高校再編の模範となる取組であり、地域の今までの検討事項や要望をできる限り反映してもらえるように県教委にお願いしている」「地域の将来にわたる課題等を解決する人材を学校で育てられるような環境を地域と一緒に作って欲しい」と県教委に伝える」との発言があった。



市及び市議会による要望



(無会派)
さとう たけし
佐藤 武 議員が問う



農業振興策の充実

政策提案 新規就農者だけでなく、既存の農業者も支援すること

Q 既存の農家を支援する取り組みが弱いのではないかと。集約化だけでなく、兼業、家族経営、個人等多様な経営形態で農業振興すべきではないか。

A 既存農家への新たな支援については、農家の現状把握に努め、対策の有無について検討していきたい。経営形態については、専業、兼業等に囚われず、農業者に適した形態で取り組むべきと考える。



◎豊かな土地を有効活用する



(自民クラブ)
あさり たけじろう
浅利竹二郎 議員が問う



限界集落の町内会

政策提案 人影消え限界集落は風前の灯火、コミュニティを保つべき

Q 町内会長が、民生委員等のなり手のないまま1人何役も抱えている町内の現状をどう見るか。

A 担当する地域に居住しすぐに対応できることが民生委員委嘱の条件である。人口が減少し、町内会加入者も減少するなかでご理解をいただかない。

Q 一律な定年制を廃止し、勤労意欲のある高齢者の就業促進としては。

A 令和4年4月1日から70歳までの就業機会の確保が事業主の努力義務とさ



◎崩壊しそうな空き家が点在



(無会派)
すぎうらひろき
杉浦弘樹 議員が問う



高校通学の問題点

政策提案 西通り地区の生徒が高校へ通学する現状の問題を解決へ

Q 西通り地区在住の生徒が市内高校へ通学する際の新たな問題解決に向けた市の取組経過について伺う。

A スクールバスの減便は、働き方改革関連法の施行や近年の運転手不足が要因となっている。加えて、路線バスについては、一般利用者のニーズも考慮する必要があることから、ダイヤ改正や増便をすることが難しく、この件を複雑にしている。

Q 運行時間の環境整備が難しいのであれば、新たな通学支援はできないか。



◎部活動ができる通学支援を



(自民クラブ)
いだしげき
井田茂樹 議員が問う



閉校後の利活用

政策提案 奥内小を「学びの多様化学校」として子どもが集まる場所に

Q 学びの多様化学校と通常の小中学校の違いは。

A 学びなおしの時間、体験活動の重視、登校日数や登下校時間の柔軟な設定などを通じ、子どもたちが自分のペースで安心して学べる学校となっている。

Q 自然環境や地域の人材・文化・産業資源を生かし地域ぐるみで子どもたちを支える市としての具体的な取り組みや方向性は。

A 第一候補地である奥内地区は、学校と地域のつながりが深く、豊かな自然



◎笑顔広がる学びの場所へ



(無会派)
くどうしょうこ
工藤祥子 議員が問う



ホタテ産業

政策提案

へい死問題を乗り越えるため、持続発展に向けた対策を

Q ホタテガイの大量へい死は陸奥湾沿岸漁業者の共通問題であるが、市の取組は。

A 近年のホタテ養殖業の課題として、高水温や餌不足などの環境の変化に対応した養殖技術の改良があげられる。青森県産業技術センター水産総合研究所が、環境変化に耐える技術の研究を行っている。また、経営対策として、漁業共済等への支援をしていく。

Q 森林経営管理制度は、昨年から森林環境税として



積み上げられたホタテかご

1人1000円徴収されている。進捗状況について伺う。

A 令和7年度の計画は、脇野沢地区の森林整備、大畑地区の現地調査、むつ地区奥内等の意向調査の実施を予定している。



(市誠クラブ)
さとうひろまさ
佐藤広政 議員が問う



物価高騰の影響は

政策提案

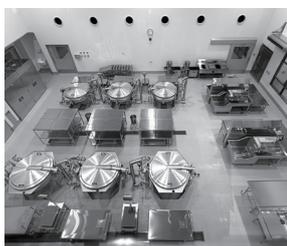
給食費の追加予算も検討を考慮するべし

Q 物価高騰の対応は。

A 給食の品質と量を確保するため、年間を通じて安定供給されている冷凍食品を使用するなど対応しているが、今後は入札制度の導入の可能性も検討する。

Q 運営状況、メリットデメリット、課題、改善点は。

A 新しい設備、徹底した衛生管理の下、安全安心な給食を提供できているが、大規模調理場であるため最低食数を1000食と設定しており個々の学校行事に対応できないこと、配送に



最新設備と食育機能も

時間を要する学校があること、また施設見学や食育事業の準備が整っていないことなど。

Q こどもたち、父兄、教職員の反応は。

A 児童生徒用及び教職員用のアンケートを実施して7月にまとめる予定である。



(市誠クラブ)
さがひでお
佐賀英生 議員が問う



特殊詐欺に注意を

政策提案

特殊詐欺防止のために、電話番号を登録し未然予防すべき

Q 特殊詐欺に関する、消費生活センターに寄せられた相談の傾向は。

A 相談件数は、令和6年度は513件で、特殊詐欺に関する相談は15件、架空請求詐欺は11件、異性との交際あつせん目的詐欺が4件、還付金詐欺及び金融商品目的詐欺がそれぞれ1件で、令和3年の88件をピークに減少している。

Q むつ市の成人、高齢者の予防接種の種類と接種状況はどうなっているか。

A 予防接種は、定期接種



知らない電話には出ない事

と任意接種があり、定期接種のうち65歳以上の方を対象とした、季節性インフルエンザ、肺炎球菌感染症及び新型コロナウイルス感染症があり、接種費用の一部を助成している。带状疱疹は7月から開始する。



(市誠クラブ)
のなかたかゆき
野中貴健 議員が問う



止まらない少子化

政策提案

小中学校の大規模な統廃合を推し進めるべき

Q 20年前の合併時と比べて、むつ市の人口の推移は。

A 1万6380人の減で減少率は24.3%。

Q 現在の中学3年生の人数と、昨年度の出生数は。

A むつ市全体で中学3年生は450人、令和7年3月31日時点での0歳児の人数は187人となる。

Q 小中学校の大規模な統廃合を検討する時期にきているのではないか。

A 「むつ市学校規模適正化に関する方針」を策定してから8年が経過したこと

から、本年4月に新たな方針を策定。児童生徒の動向に留意しながら、当面は現状の学校規模での教育活動を推進。よりよい教育活動を維持することが難しい場合は、学校規模のあり方について検討を進めていく。



こどもたちの声が消えた校舎



(無会派)
はまだえいこ
濱田栄子 議員が問う

自然の家の存続を

政策提案 環境を学び体験する重要な施設として残すべき



Q こどもたちに感動と発見をあたえてきたむつ市下北自然の家について、民間移譲等も含めて存続できないか伺う。

A 廃止後の施設のあり方については、関係課の長を参集範囲とした会議で意見を出し合い検討を行っているところである。

Q 大畑地区において、2か所の調査が始まっている風力発電については、森林の開発により、生態系や水源の涵養林としての機能にあたる影響が懸念される



森と海に囲まれた自然の家

が市の見解を伺う。

A 基本的姿勢としては、地域住民との合意が得られない、自然環境と共生しない計画には反対の立場である。地域共生型の事業であるかどうか引き続き見極めたいと考えている。



(無会派)
たかはしまさし
高橋征志 議員が問う

高校再編と新校舎

政策提案 約束を破りかねない県教委に対し毅然とした対応を



Q 下北地区統合校の新校舎「新築」という約束を、青森県教育委員会は反故にしかねない。これを容認すれば、様々な分野で、県がむつ市との約束を破ることが常態化する恐れがある。市として毅然とした対応をとるべきと考えるが。

A 県に対しては市民を第一に毅然とした態度で対応してきた。この姿勢はこれまでと変わることはない。

Q 校則の見直しを学校へ意見するなどの、生徒の主体的な活動が内申書にマイ

（高橋議員）
いろいろ意見が出ましたが、新校舎の建つのですが、施設整備のスケジュールも最終的に明らかになっていない。先ほど保護者の方からありましたけれども、最終的にこのリニューアルした校舎をスタートさせて、新校舎も建設しないという選択はありまじい。そこだけちょっと確認なのですが。

（県教委 学校施設課長）
お答えいたします。先ほど申しあげましたとおり、今回の見直しは進まないと、着実に施設整備を進められるように、まずは、新たな改築計画の検討をしております。前にリニューアルした校舎をスタートさせて、新校舎も建設しないという選択はありまじいというところでは、既に決まっております。

（高橋議員）
新校舎は進みますよね。

（県教委 学校施設課長）
お答えいたします。先ほど申しあげましたとおり、今回の見直しは進まないと、着実に施設整備を進められるように、まずは、新たな改築計画の検討をしております。前にリニューアルした校舎をスタートさせて、新校舎も建設しないという選択はありまじいというところでは、既に決まっております。

かみあわない議論



(陸奥未来)
むらなかひろあき
村中浩明 議員が問う

海自大湊基地

政策提案 地域経済の活性化や人材育成のために教育隊を誘致すべき



Q 海上自衛隊教育隊の誘致について伺う。

A 隊員の方たちが市内で様々な消費活動をしてくれることにより地域経済の活性化が図られるだけではなく、この地域に根ざした隊員の人材育成や隊員の確保につながる。今後においては、教育隊の誘致について、防衛省や自衛隊への要望を検討していく。

Q むつ市が描く未来の方向性について、市長の考えを伺う。

A 今後における本市の基



整備されていく大湊基地

地政策に係る方向性を明確にし、その取組を着実に進めていくために、現在、「(仮称)むつ市基地政策方針」の策定作業に着手しており、策定後は、それに基づき自衛隊との「共生共栄」を推進していきたい。



(公明・自由)
さくらだひでお
櫻田秀夫 議員が問う

障がい者就労支援

政策提案 一人ひとりに合った就労支援プランの提供を



Q 障がい者就労支援における特有の課題と市の対策は。

A 全国的平均に対して、就労継続支援B型事業所の工賃向上は課題である。市の対策として、事業者が取り組んできた成功事例や全国の事例を収集し、工賃向上に繋げる情報提供をして参りたい。

Q 中長期的な目標やビジョンは。

A 福祉施設を利用して居る方の一般就労移行を増加させ、定着できるように、定



仲間と共に、活気ある現場

着支援サービスの利用者も増やしていく。また、地域自立支援協議会等における、事例共有や担当職員が各種研修会へ参加する等、具体的な数値目標を設定している。

アンケートのお願い

最短 30 秒で回答できます！

むつ市議会では配信動画の満足度を検証し、更なるサービスの向上を図るため、アンケートを実施しています。

皆さまの配信動画に対する満足度やご意見等を教えてください。

和7年6月18日(水)10時～

日程

1. 議案質疑
委員会付託
一部採決

第 264 回定例会 議案質疑



アンケートは
こちらから↓



(自民クラブ)
なかむらまさし
中村正志 議員が問う



EBPMとは何か

政策提案

地域の課題解決とサービス向上のために推進を

- Q** EBPMの特徴、従来の政策立案との違いは何か。
- A** エピソード・ベースではなく、エビデンス・ベースによる政策運用で、データ等に基づいて政策の評価・立案することにより、証拠に基づいた客観的な判断が可能となり、より効果的な政策の展開につなげていく。
- Q** EBPMの導入目的は、また、どの分野から導入を始めるのか。
- A** 市の最上位計画である



EBPM 研修

※EBPM(Evidence Based Policy Making)

り、政策の発生源である「むつ市総合経営計画」の次期計画に導入することで、政策の見える化を図り、計画の実効性を確保し、限られた行政資源を有効活用していく。

常任委員会行政視察報告

産業建設常任委員会

5月14日(水)
大分県別府市
「観光戦略について」

5月15日(木)
宮崎県日南市
「港の駅めいつについて」

視察内容の詳細は
こちらから↓↓↓



大分県別府市にて座学

民生福祉常任委員会

5月21日(水)
三重県伊勢市
「避難行動要支援者制度について」

5月22日(木)
愛知県尾張旭市
「あたまの元気まる事業について」

※ VR を活用した認知機能チェック事業



視察内容の詳細は
こちらから↓↓↓



VR を活用した認知機能チェックを体験

第264 回定例会

議決結果・賛否一覽

★ 議案の内容や過去の賛否一覽も議会ホームページから見るができます。



◎は全会一致、○は賛成多数、×は否決、－は採決なし

議案番号	件名	審議結果
25	むつ市乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例	○
26	むつ市産業会館条例の一部を改正する等の条例	◎
27	むつ市子ども・子育て会議条例の一部を改正する条例	◎
28	むつ市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例の一部を改正する条例	◎
29	工事請負契約について(むつ市湯野川温泉濃々園建設工事(建築工事)に係る工事請負契約を締結するためのもの)	◎
30	財産の取得について(むつ市消防団むつ消防団第6分団配備の消防ポンプ自動車を、老朽化に伴い更新するためのもの)	◎
31	むつ市過疎地域持続的発展計画の変更について	◎
32	市道路線の廃止について	◎
33	人権擁護委員の候補者に推薦する者につき意見を求めることについて	◎
34	令和7年度むつ市一般会計補正予算	◎
35	むつ市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	◎
36	むつ市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	◎
37	むつ市特定公園施設の設置に関するパリアフリー化基準を定める条例の一部を改正する条例	◎
38	工事請負契約について(仮団地橋架替工事に係る工事請負契約を締結するためのもの)	◎
39	財産の取得について(更新時期を迎えたこと及びシステム標準化に対応した機器とする必要があることから、住民情報システム用パソコン及び当該システムに統合されるパソコンを更新するためのもの)	◎
40	令和7年度むつ市一般会計補正予算	◎
41	令和7年度むつ市水道事業会計補正予算	◎

議案番号	件名	審議結果
報5	令和6年度むつ市一般会計継続費繰越計算書	-
報6	令和6年度むつ市一般会計繰越明許費繰越計算書	-
報7	令和6年度むつ市水道事業会計予算繰越計算書	-
報8	令和6年度むつ市下水道事業会計予算繰越計算書	-
報9	専決処分した事項の報告について(工事請負契約の一部変更契約について)	-
報10	専決処分した事項の報告について(工事請負契約の一部変更契約について)	-
報11	専決処分した事項の報告について(工事請負契約の一部変更契約について)	-
報12	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
報13	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
報14	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
報15	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市税条例の一部を改正する条例)	○
報16	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	◎
報17	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市半島振興対策実施地域に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	◎
報18	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(むつ市承認地域経済牽引事業のために設置される施設に係る固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例)	◎
報19	専決処分した事項の報告及び承認を求めることについて(令和6年度むつ市一般会計補正予算)	◎
報20	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
報21	専決処分した事項の報告について(和解及び損害賠償の額を定めることについて)	-
議員4	下北地区統合校を志望することもたちの不安の解消、進路の実現及び学習環境の充実に向けて、速やかに施設整備等の方針を示すことを求める意見書	◎
議員5	むつ市議会議員定数条例の一部を改正する条例 ※賛否一覽は3ページに掲載しています。	○

議案番号等	議決結果	合計			市誠クラブ					公明・自由			自民クラブ				陸奥未来				会派に属しない議員					
		賛成	反対	欠席・不在	佐賀 英生	東 健而	野中 貴健	大瀧 次男	佐藤 広政	住吉 年広	櫻田 秀夫	白井 二郎	中村 正志	佐々木 肇	浅利 竹二郎	井田 茂樹	富岡 幸夫	佐々木 隆徳	岡崎 健吾	村中 浩明	富岡 直哉	高橋 征志	杉浦 弘樹	佐藤 武	工藤 祥子	濱田 栄子
議案 25	可決	19	2	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○
報告 15	承認	18	1	0	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	-	○	○	○	○	●	○	欠	欠	○	

地域の絆に感謝して



奥内小学校6年 運営委員長
くどう らいき
工藤 来希 さん

Q. 奥内小学校での最後の運動会はどんな思いで臨みましたか。
A. 運動会を楽しみながら、盛り上げたいと思っていました。
Q. 最後の運動会を終えての感想はどうですか。
A. 悲しい気持ちと最後の運動会を盛り上げることができてほっとしています。
Q. 来年中学生になるがどんなことを頑張りたいですか。
A. 新たな友達を作ることと勉強を全力で頑張りたいです。

市民の声 in奥内小学校



令和7年度末で閉校
奥内小学校としての
最後の運動会を
取材しました！

僕らの笑顔は永遠に

Q. 奥内小学校での最後の運動会はどんな思いで臨みましたか。
A. 観客を楽しませて笑顔にさせたいと思っていました。
Q. 最後の運動会を終えての感想はどうですか。
A. 悲しい気持ちと最後の運動会を盛り上げることができて良かったです。
Q. 新たな小学校ではどんなことを頑張りたいですか。
A. 友達をいっぱい作り勉強を頑張りたいです。



奥内小学校5年
たちばな あさひ
立花 朝陽 さん

議員在職25年以上による特別表彰 6月3日

富岡幸夫議長
白井二郎議員 受賞

全国市議会議長会特別表彰

令和7年5月20日に開催された全国市議会議長会第101回定期総会において、富岡幸夫議長及び白井二郎議員が議員在職25年以上の特別表彰を受賞し、第264回定例会の開会日、6月3日の本会議で表彰状の伝達を行いました。

編集後記

運動会でリレーに出場した娘の姿を見ながら、小学生だった自分の姿と重ねてしまいました。あの頃のように全力で走ることは難しいですが、今は、議会だよりに全力です。これからも進化する「むつ市議会だより」にご期待ください。(中村正志)



↓むつ市議会の情報はこちらから↓

